

別記様式

会 議 録

会議の名称	令和6年度第2回戸田市外部評価委員会
開催日時	令和6年5月17日(金) 午前10時00分～午前11時30分
開催方法	501会議室
委員長等氏名	委員長 佐藤 徹 副委員長 長野 基
出席者氏名 (委員)	委員 青山 裕之 委員 溝上 西二 委員 宮崎 仁美 委員 忰田 康二 委員 古賀 麻明利
欠席者氏名 (委員)	無し
説明のため 出席した者	無し
事務局	渡辺課長 石嶋主幹 北田副主幹 薄葉主事
議 題	(1) 戸田市第5次総合振興計画について (2) 各評価シートについて (3) 令和6年度戸田市外部評価ヒアリング対象施策の選定について
会議の経過 及び 会議結果	別紙のとおり
会議資料	次第 【資料1】 第5次総合振興計画について 【資料2】 施策評価シート及び事務事業評価シート 【資料3】 外部評価シート 【資料4】 ロジック・モデルについて 【資料5】 令和6年度評価対象施策の候補施策一覧 【参考資料1】 第5次総合振興計画(概要版) 【参考資料2】 戸田市第5次総合振興計画前期基本計画実施計画(R5～R7)

(会議の経過)

発 言 者	議 題 ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
事務局	1 開 会 2 議 事 (1) 戸田市第5次総合振興計画について 資料1に基づき、説明を行った。
委員	戸田市の人口推計、将来推計について、他市も令和20年頃から人口減少を想定し、計画を作成しているところが多いが、その減少幅が他市よりも比較的緩やかなのが見てとれる。 何か戸田市の特徴により、人口推計の減少幅が小さいということがあれば教えてほしい。
事務局	地理的な面では、都内近郊ということもあり、通勤や通学等において利便性が高いため、若い年齢層の方が多くいらっしゃる。 それだけ新しい人口が増えるということに繋がる。 その点で人口展望のカーブは他市と比較し、緩やかになっていると考えている。
委員	地理的な要因が大きく、若い層の人材流入が多いといった点も考慮し、外部評価に臨む。
委員	この数年間で、人口構成の中身に変化があるのではと考えており、外国人の流入や市内で増えている人口は戸田市民かあるいは、戸田に住民票を置いているが都内で活動する戸田都民なのか等、戸田市の将来構想を練る時の考え方が、目指す人口構成のバランスにより変わると考えているため、その人口構成の中身の分析結果があると、それを加味した評価ができると考えている。
事務局	総合振興計画の説明の中で申し上げた「まち・ひと・しごと創生総合戦略」が主に人口に主眼を置いた計画になる。

	<p>関係人口の考えがあり、住民票が戸田市にある人のみならず、戸田市に関連がある人を増やしましょうという考え方であり、関係人口の増加を含め活力ある戸田市を持続させる目的でまち・ひと・しごと創生総合戦略が存在するが、人口推計値の中には、外国人比率については考慮していない。</p> <p>まち・ひと・しごと創生総合戦略の中で、人口ビジョンを作るにあたり、総合振興計画の施策とも紐づいているため、外国人比率についてどのように施策の中に反映できるかという点は課題である。</p>
委員	<p>施策評価は、目指すところがどこかで、ガラッと変わると考えている。</p>
事務局	<p>人口を増やすことについて、どのような具体的な要素を持った人を増やすかという詳細まで突っ込んだ記載が今現在はできていない。</p>
委員長	<p>将来展望、人口ビジョンに関して外国人の増加要素などは、総合振興計画には含んでないとのことだが、人口ビジョンのこれまで実績データはあるかと思うので、将来予測とか将来展望に関してはデータが無くても、これまでの実績が分かるデータ、それから、関係人口は数字で把握するのは難しいと考えているが、戸田都民のような数値が追える資料がもしあれば次回以降の委員会で提供をお願いします。</p>
事務局	<p>該当する資料があれば提供する。</p>
委員	<p>第5次総合振興計画と一緒に作成した国土強靱化計画及びまち・ひと・しごと創生総合戦略について、概要が分かる資料があればほしい。</p>
事務局	<p>本日配付の参考資料1 総合振興計画の概要版にて、全体の骨格の説明があり、第1回委員会にて配付した総合振興計画の冊子内に、2つの計画の内容の掲載があるので、そちらご覧いただきたい。</p>
委員	<p>財源に係る資料の扶助費の増減について、その内訳を知りたい。例えば生活保護を受ける人が増加しているであったり、そういった背景を知りたい。</p>

事務局	該当する資料があれば提供する。
委員	<p>今の質問は、意図が2点あると推測しており、本日の資料に記載のある平成18年時点で既に扶助費として支出していた項目がどのように増減したかということと、もう一つ、保育の無償化やこども医療費関係の更なる給付拡大といった新規メニューが増え、それが過去と比較した際にどれくらい増加しているかという2点を把握したいと考えている。</p> <p>扶助費が増えることで、一般財源の割合自体が減となることは理解できるが、扶助費は増加が良くないというマイナスイメージがある一方で、子供政策は充実できるということになると、プラスの部分もある。</p> <p>古くからある項目の推移と、新しく入った項目の内訳を把握した上で、評価の背景として理解させていただくこととしたい。</p>
委員長	委員のおっしゃった部分について、新旧分けて整理をお願いします。
事務局	可能な限り資料準備する。
委員	財源について、どの市でも同様に課税を行っている固定資産税や住民税のコア財源の収入分は、平成18年頃と比較し、どのように推移しているのか。
事務局	<p>固定資産税と住民税はコロナ禍で増えていた現状がある。</p> <p>特に固定資産税は、区画整理事業の進捗等を含む市の発展に伴い、年々上昇している経緯がある。資料については、次回までに用意させていただく。</p>
委員	住宅からの固定資産税が増えたのか、それとも法人による大規模な設備投資等による開発により、固定資産税が増えたかというどちらか。
事務局	どちらかというとなら開発の方が起因していると考えている。
委員	戸田市においては、大きな道路網の整備や旧農地や河川敷だった部分が宅地開発される等まちづくりにおける発展があったと考えているが、固定資産税の上昇という点においてはあまり効果がなかったのか。

事務局	<p>住宅もかなり増えており、特に新曽地区は区画整理が進んでおり、農地からの転用等も行われ、地価も上がっている。あとはマンション建設等も行われ、固定資産税額が急激に上がったという部分はある。</p>
委員	<p>財政状況の中で、自主財源の話があり、戸田市の場合には競艇関係の配当金等があると思うが、今後の財源の見通しなどを分かる範囲で教えていただきたい。</p>
事務局	<p>今年度の歳入内訳になるが、市税が 48.7%、国庫支出金が 19.3%、県の支出金が 6.4%、市債が 6.3%、地方消費税の交付金が 5.6%で、繰入金が 5.4%あとはその他として 8.3%となっている。競艇事業者収入は令和 4 年度で 7 億円という情報があり、少なくとも 1 桁億円が続いてるという現状があり、昔のような競艇収入があるから財政が潤っているという状況には今はない。</p>
委員	<p>財源をまかなうため、市内企業からの法人事業税等も大きな収入になると考えており、大規模企業の企業誘致について、今後の展望を教えてください。</p>
事務局	<p>企業誘致は、難しいと考えている。</p> <p>市の所有する広大な土地を持ち合わせていないため厳しいと考えているが、民間の大きな会社が撤退したときに、民民の話なので深く介入はできないが、今後の土地利用を検討する中で、新たな企業に移転先としてどうかという点について、交渉したりしている。</p>
事務局	<p>(2) 各評価シートについて</p> <p>資料 2、3 及び 4 に基づき、説明を行った。</p>
委員	<p>委員皆さまの評価に係る認識合わせのため、3 点質問する。</p> <p>1 点目は、事務事業評価シートは評価対象ではなく参考として、施策評価シートは評価対象として、それぞれ委員で確認をするという認識であるが、この施策評価シートの事務事業の評価結果欄は、各部局にて作成し、ABC 評価される内容と認識している。</p>

	<p>その中で経費水準の評価基準を確認すると、経費の精査は十分になされているかという点で、担当部門の話と財務管理部門の視点は違う話である。この評価結果は、財政部門を含めて、経費の精査が十分されたと認定しているという認識でよろしいのか。</p> <p>2点目は、施策評価シートにおける結果と今後の方向性における進捗状況の中で、ABCにて評価をする部分があると思うが、ABCの解釈が難しい。例えば、A 躍進中と評価されるのはどのような場合なのか。</p> <p>躍進ということは裏を返せば、最初の事業見立てのとおりに進んでいないとも言え、取りようによっては失敗していると捉えることもできる。限りある予算の中で事業実施を行ったというプラスの場合も考えられるので、躍進中の意味合いをお聞きしたい。</p> <p>3点目は、本評価にあたってはロジックモデルシートを参考にという話があり、施策評価シート内の施策の指標における成果（主な成果）がロジックモデル各階層のどの階層に相当するものが、確認をしたい。</p>
事務局	<p>1点目、事務事業評価シート内の経費水準のABC判断について、こちらは、担当部局の評価となるので、財政管理部門による判断はない。</p> <p>評価対象は、前年度に完了した事業であり、担当課の主観における評価であるが、投入予算に対する得られた成果や示している指標の達成状況等を基に、担当部局にて総合的に判断しているものとなる。</p>
委員長	<p>外部評価の際に提出される各評価シートは、担当課における一次評価であり、外部評価の結果を受けて、最終的な評価結果を公表するにあたっては、市としての評価結果にあたるものになると理解している。</p>
委員	<p>事務事業評価シートの経費水準等一つ一つも委員側で確認する必要があるのか。</p>
委員長	<p>事務事業評価シートはそこまで細かく確認をしていただく必要はなく、施</p>

	<p>策の評価を中心に、必要に応じて事務事業の内容も確認いただくようなスタンスでお願いします。</p> <p>もちろんこの事務事業の内容について、ヒアリングのときに、質問や意見交換していただくのは差し支えない。</p>
事務局	<p>2点目の施策評価シートのA 躍進中はどのような場合につくのかという質問について、様々なケースが想定されるが、例えば、事業年度中に事業が追加され、想定していた予算の中で、効率的な手法を取り入れることで、より目的に近づくことができたり、あとは、各施策の指標において、目的数値を大きく超える効果が発現した等、計画以上に目標に近づいたということがあれば、それは担当部局において躍進中と判断するケースもある。</p>
委員長	<p>施策の進捗状況の判断については、気になっている部分があり、「何をやったか（アウトプット）」と「やった結果どうなったか（アウトカム）」のどちらかで、施策の進捗状況を判断することになるのかという点である。</p> <p>今の説明だと、施策評価シートの1枚目の表にある、施策指標の成果はアウトカムの状況を見ていく形になると考えている。</p> <p>そのアウトカム指標の内容で、年度ごとの目標値を超えていれば躍進中がついたりする可能性もあるという認識でいるが、どうか。</p>
事務局	<p>施策の進捗状況は、「やった結果どうなったか」のアウトカム指標で確認していただく形になる。</p> <p>3点目の施策評価シートの主要指標の部分は、ロジックモデルシートのどの階層に対応しているのかという質問について、ロジックモデルシートの主要指標のところはアウトカム指標として設定しておりますので、ロジックモデルの最終成果に対応しているものである。</p>
委員	<p>最終成果は、活動をしてから効果が出るまでに熟成する期間があるというのが一般的な考え方だと思うが、施策評価シートの最終成果に対応する指標は毎年度の成果を迫るような設定になっているのが気になる。</p> <p>毎年度の成果を迫るものはロジックモデルの階層別で捉えるところの、直接成果であるため、最終成果を指標とすると、それは遅行指標であり、前</p>

	<p>年度の成果を追うことが困難とも考えられる。</p> <p>最終成果に対応する指標によって毎年度のデータから進捗を追えるのか教えてほしい。</p>
事務局	<p>指標には、アウトカム指標を設定しているが、毎年度の成果を追えるような指標設定というところは今後の検討課題である。</p>
委員長	<p>指標により、効果が出るまでに時間がかかるものがあるのは、ケースバイケースであるが、最終成果が施策における指標レベルである場合に、どのように評価すべきか整理いただくことが必要である。</p>
委員	<p>質問した意図としては、評価側である委員において、評価ポイントがずれないようにしなければならない点からである。</p> <p>市担当部局が施策評価を行う際のマニュアル等があれば、委員側における共通認識のため、提供してほしい。</p>
事務局	<p>参考となるマニュアル等も提供させていただく。</p>
委員長	<p>施策評価シート内に記載のある事務事業ごとの施策内優先度について、以前はABCの付け方のルールが存在したと記憶している。</p> <p>また、評価でCが2か年連続して付き、かつ見直しがされていない場合は、庁内会議体にて諮り、不要であれば廃止という取扱もあったと記憶している。</p> <p>もしルールがあれば、担当課の考え等も汲み取りたく、資料を提供してほしい。</p>
事務局	<p>事務事業の内部評価におけるルールを確認し、あれば提供させていただく。</p>
事務局	<p>(3) 令和6年度戸田市外部評価ヒアリング対象施策の選定について資料5に基づき、説明を行った。</p>

	<p>令和6年度については、外部評価委員会の選定施策を3施策、市長選定の施策を3施策としたく、外部評価委員会の評価対象施策は、「10 地域福祉の推進」、「21 快適で秩序ある美しい市街地の形成」、「32 市民活動の活性化と地域交流の促進」とし、市長選定の評価対象施策は、「1 子育て支援の充実」、「15 消防・救急体制の強化」、「27 生活環境の保全」に決定してよいか。</p>
委員一同	<p>異議なし。</p>
委員長	<p>承認とする。 その他に意見や質問等はあるか。</p>
委員一同	<p>なし</p>
事務局	<p>(4) その他 令和6年度第3回戸田市外部評価委員会は、令和6年7月4日木曜日の午前9時から501会議室にて開催を予定しており、第3回では、さきほど決定していただいた6施策について、事務局から施策の概要や現在の取組状況等を説明させていただく予定である。</p> <p>また、本日いただいた宿題事項については、後日回答をさせていただきます。</p> <p>8 閉 会</p>